

# 富に関する教え① 悪しき管理人の譬え(1)

ルカの福音書16:1-9  
2013,6,9 HKJCF

## 概観

序)①旧約の富の教え②山上の説教での  
教え③十字架直前の教え

- 1、譬えの前提
- 2、譬えの解釈(1),(2)
- 3、聖書とこの世の富

適用) この世界が3ヶ月で終わるとしたら、  
あなたはどのように暮らす予定ですか？  
その日々を長く続けたら人生はどうなるで  
しょう？

## I 譬えの前提

- 1、イエス様の周辺の人々  
①パリサイ人等②金持ち・祭司③議員④  
群衆等⑤熱心党⑥外国人⑦ヨハネ・周辺
- 2、譬えの前提  
①パリサイ人等←自己義認・偽善・高慢  
②金持ち←地上的価値・自己中心・不安  
③弟子たち←イエス様との愛の関係・神  
の国の教えと価値観・献身/訓練/派遣  
⇒富に関する教えの重要性

## II 譬えの解釈(1)

- 1、聖書解釈の問題:神の存在/人格/解釈  
①世俗的②道徳的③超象徴的④超霊的  
⑤即自的⑥中世の解釈⑦自由主義
- 2、福音的聖書解釈  
1) 聖書解釈は読み込みでなく、読み取り  
2) 聖書は聖書で解釈(帰納法>演繹法)  
3) 解釈権は福音と聖霊⇔高等批判・異端  
1)前後関係2)福音3)原語・形式4)背景(歴  
史・地理・文化)5)神学6)解釈史7)道具  
⇒福音の徹底理解と聖霊の照明がKEY

## 譬えの解釈(2)

- 3、不正な管理人の抜け目なさ:変化への  
抜けめない対応←変な主人の高い評価
- 4、小さなこと・不正の富・他人のもの:こ  
の世の生活と富
- 5、大きなこと・まことの富・あなた方のも  
の:天国での生活と富
- 6、忠実さ:真面目さより目的への集中
- 7、神と富への献身は両立しない:献身=  
選択(神も富も献身を求める主人)  
⇒地上から天国への変化を迫られる私達

## III 聖書とこの世

- 1、世と世に属するものは過ぎ去る  
I コリント7:31 I ヨハネ2:17
- 2、神の国を前提とした生き方の大改革の必  
要(目的・価値観・ライフスタイル)  
入信=献身,聖霊による,律法は無力  
ローマ12:1-2
- 3、み国に賭ける生き方の模範  
ヘブル11:13-16